

第7章 河川空間の利用状況

7-1 河川空間の利用状況

大井川における高水敷利用は広大な高水敷をもつ下流部に多く、公園・緑地・スポーツ広場として多くの市民に利用され、やすらぎの場所となっている。特に島田市においては高水敷も広く、流域で最大の市街地を有していることから利用面積は広く利用者数も年々増加している。また、中流部の川根町、川根本町でも高水敷をスポーツ広場などに利用することが増えてきているほか、キャンプ場としても利用されている。上流部においては高水敷がほとんどないことから利用はほとんど見られない。

下流部の島田（金谷）地区での夏の風物詩花火大会や大井川連台越し、中流部におけるいかだ下り大会や上流部ダム湖のボート遊びなどにも利用されている。

大井川直轄区間におけるレクリエーション利用施設等の占用数は全 25 件であり、これらは全て河川空間管理計画の策定区間に位置する。

施設の種別は、スポーツ広場が 12 件、公園・緑地が 10 件、その他が 3 件である。左右岸別の利用状況は、左岸が 13 件、右岸が 11 件である。

表 7-1 大井川の河川空間利用

種類	No.	距離標	左右岸	施設名	種類	施設面積 (㎡)	管理者名
運動場		3.3~5.0	左岸	大井川町スポーツ広場	運動場	187,915.1	大井川町
		8.0~8.7	左岸	大井川スポーツ広場緑地	運動場	87,322.6	藤枝市
		9.6~9.9	左岸	東町スポーツ広場	運動場	4,037.5	島田市
		12.6~12.9	左岸	南町スポーツ広場	運動場	14,864.4	島田市
		16.6~16.9	左岸	向谷スポーツ広場	運動場	56,849.0	島田市
		19.0~19.4	左岸	相賀スポーツ広場	運動場	2,993.0	島田市
		22.6~23.0	左岸	神座スポーツ広場	運動場	15,925.9	島田市
		9.6~9.8	右岸	谷口スポーツ広場	運動場	3,000.0	島田市
		18.4	右岸	牛尾スポーツ広場	運動場	4,829.5	島田市
		20.4	右岸	横岡スポーツ広場	運動場	9,110.1	島田市
		20.4	右岸	横岡堤内スポーツ広場	運動場	830.2	島田市
		23.3	右岸	神尾スポーツ広場	運動場	3,314.6	島田市
公園・緑地		2.5~2.6	左岸	中島自由広場	公園・緑地	2,000.0	大井川町
		10.0~11.5	左岸	大井川緑地	公園・緑地	329,853.4	島田市
		12.4~14.9	左岸	蓬萊橋小公園	公園・緑地	4,711.3	島田市
		12.2~12.5	左岸	川越広場	公園・緑地	44,350.3	島田市
		15.6	左岸	吉田公園	公園・緑地	3,552.7	静岡県
		-0.6~-0.2	右岸	吉田公園	公園・緑地	3,156.6	吉田町
		-0.6~-0.2	右岸	吉田公園	公園・緑地	3,156.6	吉田町
		1.1~4.2	右岸	吉田町大井川清流緑地及びスポーツ公園	公園・緑地	198,360.5	吉田町
		3.6	右岸	チビッコ広場	公園・緑地	426.1	吉田町
		6.3~8.3	右岸	大井川さくら緑地	公園・緑地	92,376.5	島田市
	15.0~17.4	右岸	かなや大井川緑地	公園・緑地	132,601.3	島田市	
その他		13.0~13.6	左岸	市営島田球場及び横井運動場公園	その他	69,736.5	島田市
		12.4	左岸	蓬萊橋	その他	2,993.0	蓬萊橋 土地改良区
		12.2	右岸	多目的河川敷道路(マラソンコース)	その他	163,228.2	



図 7-1 大井川河川空間利用施設位置図



吉田公園



大井川町陸上競技場



大井川緑地



川越広場

図 7-2 高水敷の利用状況

また、大井川下流部において、島田市、藤枝市、大井川町の2市1町の区間の河川敷で多目的河川敷道路が整備されており、震災時には東西に走る主要幹線を南北で結ぶ緊急用道路として人員や救援物資を円滑に運搬するほか、全国でも初めて河川敷のみを利用したフルマラソンコースとして、一部完成区間について平常時には、河川敷のスポーツ広場等と一体となって地域住民にジョギングや散歩、サイクリング等で川に親しみのもてる空間を提供している。

なお、管理に関しては沿川市町と平成12年に管理協定を締結し管理を行っている。



図 7-3 多目的河川敷道路によるマラソンコース



大井川マラソンコース

有数の陸上合宿地に成長

重大の箱根駅伝Vで知名度

30大学や実業団 島田市「さらに充実」

島田市は、箱根駅伝のVを達成したことで、全国的に知名度が大幅に向上した。この功績を賞賛し、市内の河川敷に整備された大井川マラソンコースが、有数の陸上合宿地として成長している。このコースは、箱根駅伝のVを達成したことで、全国的に知名度が大幅に向上した。この功績を賞賛し、市内の河川敷に整備された大井川マラソンコースが、有数の陸上合宿地として成長している。

静岡新聞
P1816

図 7-4 多目的河川敷道路（マラソンコース）の利用状況

7-2 河川の利用状況

(1) 河川の利用実態

平成 15 年の大井川（ダム区間を除く直轄区間）の年間利用者数（推計）は約 163 万人である。利用形態では、スポーツの 61% が最も多く、利用者の半数以上を占めている。次いで散策が 33%、水遊び・釣りが 6% となっている。利用場所では、高水敷が 88% と高い割合で占められている。次いで堤防が 7%、水際・水面が 5% である。主な利用場所については、島田市の「大井川緑地」（左右岸）、島田市の「さくら公園」（右岸）、大井川町の「スポーツ広場」（左岸）、吉田町の「清流緑地」（右岸）である。

また、直轄区間より上流では、キャンプ等の入川者が多く、年間入川者は約 62,000 人である。

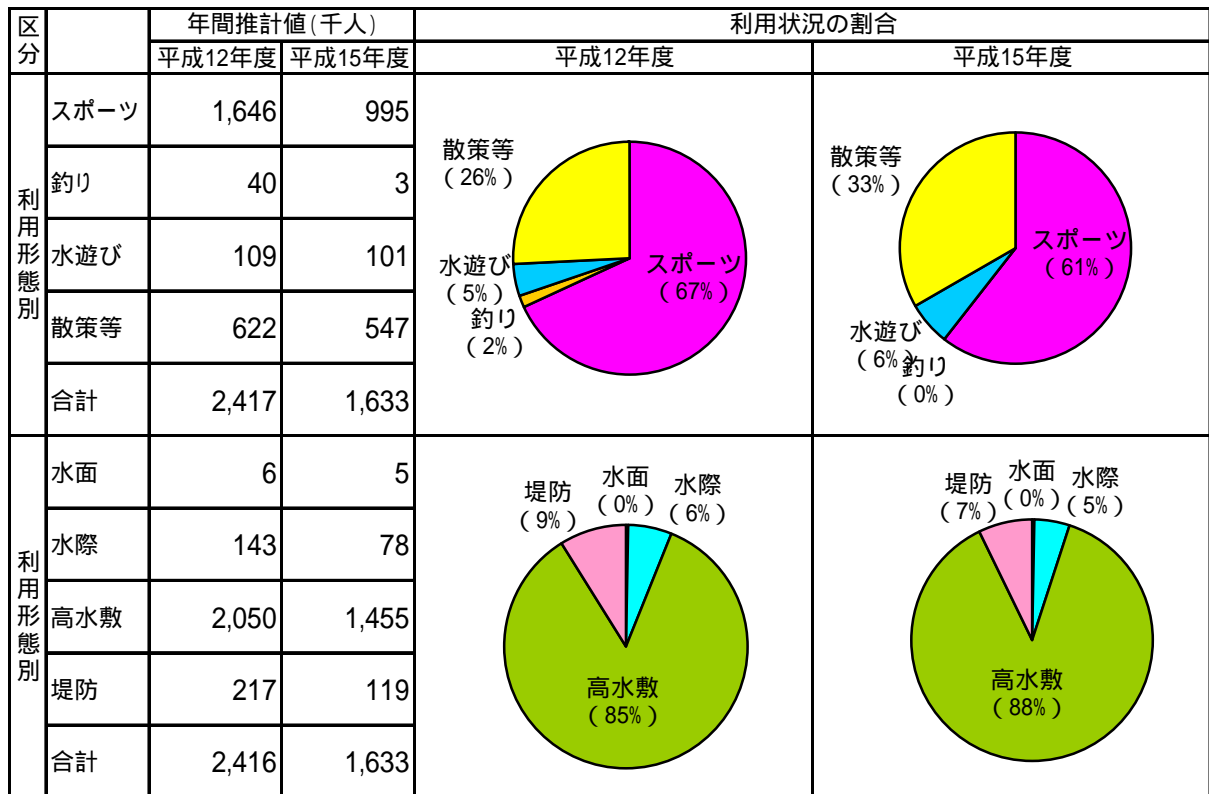


図 7-5 大井川の利用状況

表 7-2 大井川上流の年間河川入川者数（平成 15 年）

	水泳	キャンプ	魚釣り	その他	計
井川ダム 管理所管内	8	293	2,259	141	2,701
大井川ダム 管理所管内	769	2,631	539	5,824	9,763
塩郷ダム 管理所管内	1,029	529	2,636	16,742	20,936
合計	1,869	3,453	5,434	22,707	33,400

単位：人

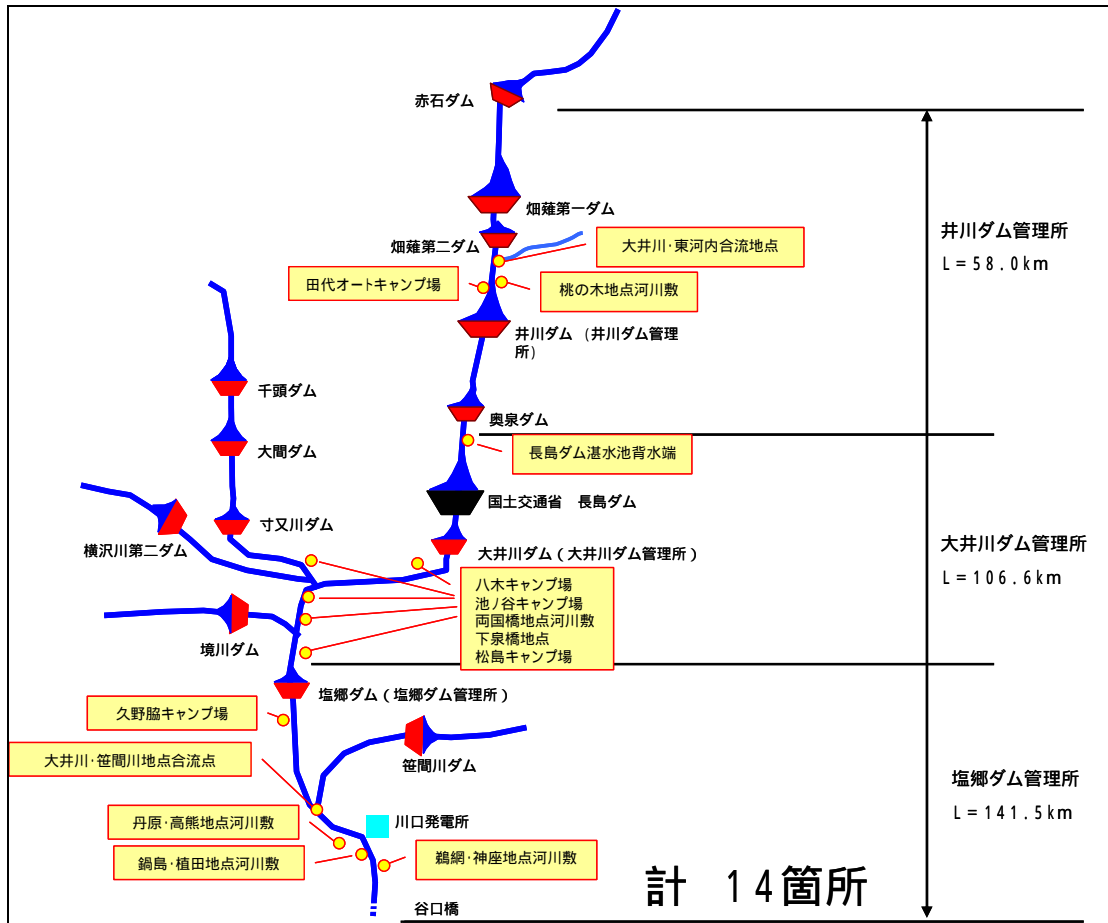


図 7-6 主な利用場所（中上流）

（中流部）



（中流部）



（長島ダム湖面）



（中川根自然キャンプ場）



図 7-7 大井川中上流の利用状況

(2) 内水面漁業

大井川水系には、大井川本支流に漁業権が設定されており、上流部渓谷のアマゴ、イワナをはじめ、アユ、ウグイ、コイ、ウナギを釣ることができ、多くの遊漁者に利用されている。

表 7-3 設定漁業権一覧表

河川名	漁業権No	漁業の位置及び区域	漁業対象魚種	漁業協同組合名	備考
大井川	内共第22号	位置:静岡県藤枝市、島田市、 榛原郡吉田町、川根町、 川根本町、 志太郡大井川町の地内 区域:大井川本流(河口~奥泉 ダム下流)、17支流	アマゴ、ウナギ、 アユ、コイ	大井川非出資漁業 協同組合 新大井川非出資漁業 協同組合	H16.1.1 ~ H25.12.31
大井川	内共第23号	位置:静岡県静岡市地内 区域:大井川本流(井川ダム から上流)、16支流	アユ、イワナ	井川漁業協同組合	H16.1.1 ~ H25.12.31

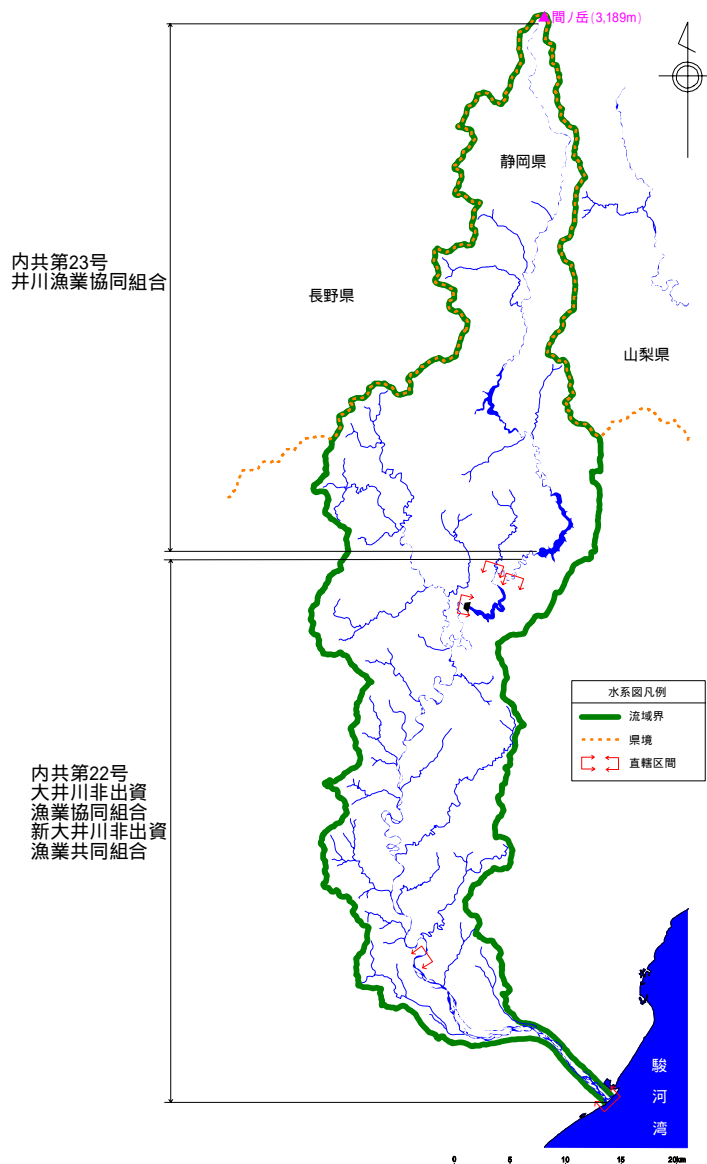


図 7-8 大井川漁業権設定位置図